

### 3号庭園

## 枯山水庭園

出土した石組を使用し、築庭当時とほぼ同じ状態に復元されています。  
大内義隆との交流が確認されている京の大徳寺大仙院の枯山水庭園（現存）に似ているとも。館の南東に位置する池泉庭園が「公的」空間であるのに対して、枯山水庭園の一角は「私的」空間であったとする説もあります。

R3.5月以降  
完成予定

八坂神社

# 大内氏館跡周辺MAP

## 土塁

大内館に土塁、空堀が整備されたのは14世紀後半以降。土塁の高さは1m程度でその上には塀（築地塀もしくは板塀）がめぐらされていました。

※発掘調査後に埋め戻されています。

1500年代前半に造営された枯山水庭園と推定。



元は興隆寺（大内氏の氏寺）の釈迦堂で、明治時代に移築され、現在は室町時代の姿に復原。

4号庭園

龍福寺本堂

## 石組かまど・せ人列建物

池泉庭園と同時期の施設です。台所のような場であったと考えられています。さらにその西側には、館の蔵と推定される建物跡が見つかっています。

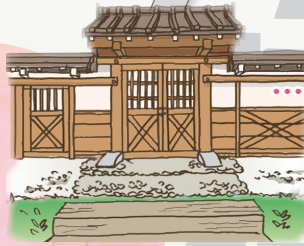
※発掘調査後に埋め戻されています。

当時は極めて希少。海外交易による大内氏の繁栄を象徴。

ソテツ

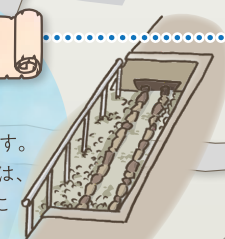
## 西門

発掘調査では柱を据えた穴などを確認。館の西側外郭はさらに現在の竪小路に近い位置にあったと考えられ、敷地内の区画を分ける内門だったと考えられています。



## 石組み水路

16世紀前半のものと考えられる石組み水路を修復したものです。水路として機能していた当時は、西門を内門として、館はさらに西側に広がっていたと推定されています。



左右主柱の間隔は約4.5mあり、西国有数の規模。

※発掘調査後に埋め戻されています。

1号庭園

1400年代終わり頃に廃絶と推定。枯山水など形状も不明。

※発掘調査後に埋め戻されています。

龍福寺山門

2号庭園

## 池泉庭園

15世紀終わり頃の作庭で、当時の形状をそのまま残す形で発掘されました。平安時代の浄土庭園のような古風な景観を示しています。池の南東側には庭の観賞用とも考えられる建物跡も。

## 大路ロビー

大館エリアのまち歩きの出発点。大内氏館跡周辺めぐりはここからどうぞ。

臨時P

龍福寺参道

大館地域交流センター

大館大路

竪小路

一の坂川



合わせて見学!

## 山口市歴史民俗資料館 TEL/FAX 083-924-7001

山口市は大内氏の本拠地として栄えた中世をはじめ、地域ごと、時代ごとに特色ある歴史と文化を持っています。それらを様々な資料から紹介しています。

〒753-0073 山口県山口市春日町5番1号 ☐ yrekimin@c-able.ne.jp <http://www.c-able.ne.jp/~yrekimin>



- 開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日振替休館)、年末年始
- 観覧料 / 110円 ※18歳以下・70歳以上の方、障がいのある方及びその付添人は無料 ※20名以上は、団体割引料金で観覧できます。団体観覧料は一人につき88円。
- 交通 / 山陽新幹線 新山口駅下車  
[JR山口線乗換] 山口駅下車…徒歩約25分 [バス乗換] 山口県庁前下車…徒歩3分

## 龍福寺資料館 〒753-0093 山口県山口市大殿大路119番地

- 開館時間 / 9:00~16:30
- 入観料 / 高校生以上…200円 小・中学生…150円
- 休館日 / 年中無休

【発行】山口市教育委員会文化財保護課

【問い合わせ】 大路ロビー

NPO法人 大路小路まち・ひとづくりネットワーク

山口市下堅小路115-3 ☎083-920-9220 <http://ojilobby.jp>

10:00~17:00 [休館日] 火曜定休(祝日の場合は開館、翌平日振替休館)、盆・年末年始

## 大内氏館跡

くだら りんしょうたいし まつえい でんしょう  
百済の王族・琳聖太子の末裔という伝承もある大内氏。

平安時代後期に現在の山口市大内に<sup>きょてん</sup>拠点<sup>うつ</sup>を移したとさ

れ、その後の14世紀後半に、大内弘世が統治の本拠を山

口としました。大内氏館跡として1959年に国史跡に指定されています。

山口市では1978年より計37回にわたって<sup>やかたあと</sup>館跡<sup>はくつちようさ</sup>の発掘調査を実施。これまでの調査

成果から、14世紀末には館の整備が行われており、さらに古くから行われている可

能性もあること、<sup>へい</sup>塀<sup>ほり</sup>や堀がめぐらされた<sup>やしち</sup>屋敷地<sup>かちよう</sup>であったこと、屋敷地が拡張してい

くこと、少なくとも4つの庭園が<sup>ていえん</sup>つくられたことなどが分かっています。

館が存在したおよそ150年間、山口は西の京と呼ばれるほど<sup>にし きよう</sup>栄華<sup>えいが</sup>を極め、大内文化

が<sup>い</sup>花開<sup>ふくげん</sup>きました。現在は、遺構の<sup>おうじ</sup>復元整備<sup>おもかげ</sup>を行い、往事の面影に<sup>は</sup>思い<sup>は</sup>を馳せること

も可能です。そして、調査開始から40年以上が経過した現在も研究は<sup>けいぞくちゆう</sup>継続中。

<sup>しんじじつ</sup>新事実<sup>かいめい</sup>の解明<sup>おうじ</sup>や見直し<sup>は</sup>によって、数年後にはより往事に近い姿へと<sup>は</sup>変わ<sup>は</sup>っているか

もしれません。

